

金沢大学附属病院においてメソトレキセートを点滴投与された患者様へ

臨床研究に関するお知らせ

[研究課題名]

骨肉腫患者におけるメソトレキセートの排泄遅延に関連する因子の解析

[内容]

骨肉腫という病気では、いくつかの抗がん剤を使用します。メソトレキセートという薬はその一つで、点滴で投与を行います。メソトレキセートを投与すると、その多くは尿と一緒に排泄されますが、投与してからある時間が経過しても、薬が体の中にたくさん残っていると、副作用が出やすいことがわかっています。そのため、メソトレキセートの血中濃度を測定して、順調に排泄されているか確認していくことが大切です。そして、メソトレキセートの排泄が遅れている場合には、副作用対策の強化が必要となります。この排泄のしやすさには個人差があることが知られていますが、排泄が遅れるはっきりとした原因はよくわかっていません。そこで、どのような患者様がメソトレキセートの排泄が遅れていたのかを詳しく調査し、その原因を検討することとしました。

[対象]

2000年4月から2015年3月までに金沢大学附属病院に入院され、メソトレキセート（商品名：メソトレキセート点滴静注液）を点滴投与された骨肉腫の患者様が対象となります。

[方法]

金沢大学附属病院のカルテ情報から、メソトレキセートの排泄が遅延した原因を調査します。

この研究は過去の診療録を用いた研究であり、対象となる方が直接治療を受けるといったことはありません。追加の費用負担や謝金は発生しません。不利益として個人情報漏洩の危険性が考えられます。このような場合に備え、対象となる方が特定できないようにし、個人情報などは匿名化されプライバシーに関することが公表されることは一切ありません。

この調査にご協力頂けるかどうかは、あなたの自由意思です。もし調査への参加をお断りになられたとしても、治療などの点においてあなたの不利益になるようなことは一切ありません。

なお、本院薬剤部では、本研究の対象薬剤であるメソトレキセート点滴静注液の製造販売元であるファイザー株式会社から協力研究員の受け入れを行っていますが、本研究とは一切かわりを持っておりません。

以上をよくお読み頂いた上で本研究への参加をご希望されない場合は、下記の研究責任者宛に2015年9月30日までにお知らせください。

2015年4月
金沢大学附属病院薬剤部
研究責任者 崔 吉道
電話 076-265-2047